

人を汚すもの

マタイによる福音書一五章10〜20節

口に入るものは人を汚さず、口から出て来るものが人を汚すのである。(11)

宗教的形式を重んじるファリサイ派の人々や律法学者たちが、宗教的な汚れから身を守るための手洗いを人々に熱心に指導していました。これに対して主イエスは、宗教的に本当に汚れているのは手や食物ではなく、人間の心であることを明確に語られました。人間の内面にこびりついている汚れを放置しつつ、外面的・形式的なきよめの行為ばかりを実践しても、全く無意味であることをイエスは教えられたのです。聖書は、神の子イエス・キリストの血だけが、人間の全ての罪をきよめることができると語ります。「御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます」(Iヨハネ一7)。私たちを罪から解放するために、神の御子が人となってこの世に降り、十字架にかかってくださいました。復活の主イエスは今日も、信仰をもってご自身のもとへ来るようにと私たちを招いてくださいます。